

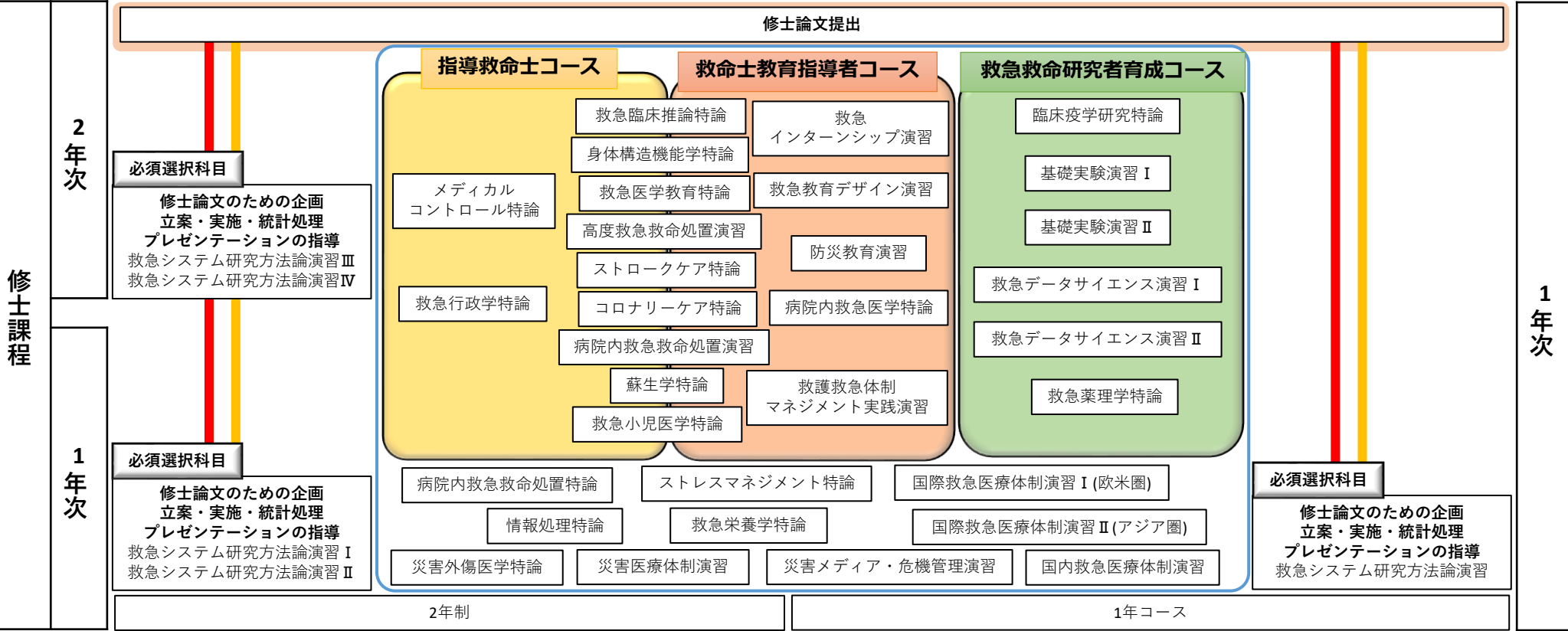
指導救命士

救命士教育指導者

救急救命研究者

修士課程 修了

DP1：研究分野における高度な専門性	DP2：調査分析能力、研究遂行能力	DP3：課題設定・解決能力、探究力	DP4：主体性、実行力	DP5：協調性、柔軟性
病院前救急医療領域において科学的思考かつ適切な倫理観を有し、国内の研究をリードする優れた研究を実践しうる者。	気魄をもって病院前救急医療領域の研究成果を広くプレゼンテーションして伝える力、臨床への実践応用を図り、また研究結果を共有するための表現方法を有している者。	災害医療や国際救急支援の在り方、病院前救急医療に関わる社会的・医学的問題に対し誠意をもって解決する力を有する者。	病院への搬送方法や選定基準、ERにおける病院内診断と治療、転帰、病態に精通し、勤労の精神をもって救命処置を行いうる者。	救急救命士の職域拡大と救急救命処置範囲を理解し適切に指導と活動ができる者。

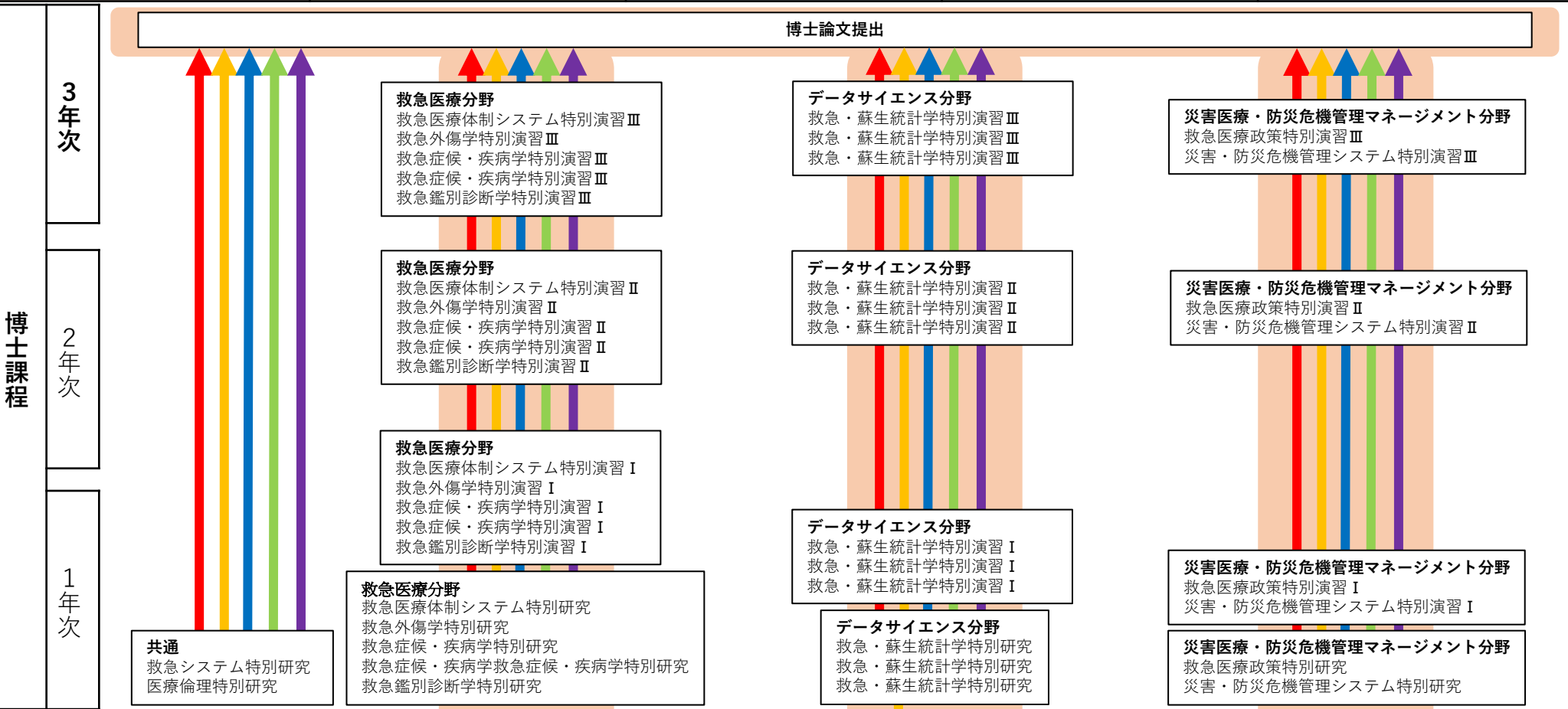


入学

AP1：研究・教育	AP2：指導	AP3：研究・臨床	AP4：教育
国内外を問わず病院前救急医療の知識と医療者としての一定の経験を有し、将来、研究や教育に携わりたいと思う者。	医師、看護師、救急救命士をはじめとした国家医療資格を有し、将来、消防機関・公的機関（海上保安庁・自衛隊・警察など）で指導救命士を目指す者。また病院救命士や民間救急救命士として指導救命士を目指す者。	病院前救急医療に関心を持ち、学識豊かな高度専門職業人として研究・教育・臨床に携わりたいと願う者。	4年制大学を卒業し救急救命士を指導または民間救急救命士養成施設教員として教壇に立つことを目指す就学意欲が旺盛な者。

博士課程 修了

DP1：研究分野における高度な専門性	DP2：調査分析能力、研究遂行能力	DP3：課題設定・解決能力、探究力	DP4：主体性、実行力	DP5：協調性、柔軟性
病院前救急医療領域で世界をリードする研究遂行能力、高い倫理観、グローバルな見識を有し、かつ自立して率先した研究活動を行う力を有する者。	病院前医療において指導者として救急現場から病院内ERまでの搬送方法や病院内診断と治療を理解し勤労の精神をもって救命処置を行い得る者。	災害時の救助や国際救急救助、災害支援の在り方、防災救急システムの構築に関して研究し、実践的に改善し指導・研究ができる者。	国内外のプレホスピタルケアに精通し救急統計やウツタイン蘇生データや救急搬送、外傷データバンクなど様々なデータを解析しグローバルな視点をもってプレゼンテーションができる者。	拡大する救急救命士の処置と職域拡大を理解し後進の適切な指導と活動ができる者。



入学

AP1：修士の学位	AP2：研究活動	AP3：研究・教育・臨床	AP4：医療倫理
国内外を問わず病院前救急医療領域の修士の学位を有する者か、あるいは同等の学力・経験があると認められた者。	国内外を問わず医師・看護師・救急救命士をはじめとした国家医療資格を有する者でプレホスピタルケアにおける研究活動を行いたいというもの。	病院前医療領域の研究に関心を持ち、学識豊かな病院前救急医療研究者として研究・教育・臨床の場に携わりたいと願う者。	独創的な思考を有し、優れた科学的見識と医療倫理を有し、就学意欲が旺盛な者。